

# 思春期 サポートプレイス通信



今回の特集は「講演会」です。当センターでは、不登校等に関する理解を深め、支援のヒントを得ていただくことを目的に、年3回の講演会を行っています。今年度は、すべての講演会が終了しました。

リスタート登録者や、講演会に参加していただいた方々に、現在第2回思春期サポートプレイス講演会や、リスタートのための学校説明会の動画を配信しており、まもなく第3回思春期サポートプレイス講演会の動画配信を開始予定です。本特集では、これまでの講演会を振り返りながら、それぞれの見どころや活用のポイントを紹介します。

また、**リスタート登録者限定**で、今年度実施した全3回分の講演会アーカイブ動画を、3月に特別配信いたします。これまでの講演会をまとめてご視聴いただける貴重な機会となりますので、ぜひこの機会にご活用ください。

令和7年度 第1回 思春期サポートプレイス講演会

## 子供の「学びたい」という気持ちを育てるために、保護者ができること

講師：東京学芸大学 教授 加瀬 進 氏



### 不登校という状態の理解と保護者としての「私」との向き合い方

不登校の子供たちは、「繭の中にこもる」「好きなことに没頭する」「自分で目標をたてる」「自由の中にまわりをつくる」といったステージのどこかで、かけがえのない自分の人生を生き抜いています。理屈としてはそう整理しても、いつしかこのステージを「登らなければならない階段」と捉えて、どうすれば早く次のステージに移れるかという「支援」ばかりを考えてしまう「私」との向き合い方について、講師の先生の「鏡」という例えで、焦りや価値観を捉えなおす姿勢について語っていただきました。

令和7年度 第2回 思春期サポートプレイス講演会

## 『ここにいてもいい』と思える場所を子供たちに(西部地区)

講師：フリースクール RainbowRoom NPO 法人 青梅の虹 any：松原 代表

フリースペース たけのこ NPO 法人子どもへのまなざし：中川 理事長

### 学校以外の居場所の実際とその場所を創り出した想い

学校以外の子供の居場所ってどんなところ？子供たちはどんな過ごし方をしているの？西部地区の豊かな自然を活かし、生き生きと子供たちが過ごす様子と、それらの環境を整え、伴走する運営者の方の子供たちへの向き合い方について、また、何故この場所を立ち上げたのかというご自身の実体験・実感に基づいた切実な想いについても語っていただきました。さらに、講演場所となった都立多摩図書館から関連図書のご紹介も頂きました。



令和7年度 第3回 思春期サポートプレイス講演会

## 『ここにいてもいい』と思える場所を子供たちに(東部地区)

講師：「文京区青少年プラザb-lab」 NPO 法人カタリバ：齊藤 副館長

「江戸川区みらいサポート教室」 心理職：宇都宮氏、小山氏、江戸川区教育相談センター：松井指導主事

### 子供が安心できる居場所の環境づくりと向き合う姿勢

子供たちが主体的にアイデアを出し、イベントや活動を生き生きと創り出している様子や、「やっていないこと」を可能性として捉える運営者の姿勢、子供たちと一緒に作ったコンセプトから、居場所への想いが伝わりました。また、背景には教育委員会の制度的支援や、心理職による丁寧な声かけ、環境づくりの工夫がありました。子供の興味や感性を尊重した学びと遊びが展開される場であり、安心できる居場所との出会いは、子供の自分らしい成長を促していました。この講演会においても、都立多摩図書館から関連図書をご紹介いただきました。



★★令和7年度思春期サポートプレイス講演会アーカイブ配信の御案内★★  
リスタート登録者限定で、1年間の講演会動画を特別配信いたします。



リスタート登録はこちら →